

## 半田市・常滑市医療連携等協議会作業部会報告

## 1. 作業部会開催状況

## ◎第1回作業部会

日 時：平成22年9月22日（水）

場 所：常滑市民病院

出席者：半田＝事務局長・管理課長・地域医療連携室副室長  
常滑＝事務局長・管理課長・地域連携室医療相談室副室長

内 容：①連携協議の方向性の確認について  
②医療連携（具体的な紹介、逆紹介）の方法について  
③経営効率化のための方策について

## ◎第2回作業部会

日 時：平成22年11月1日（月）

場 所：市立半田病院

出席者：半田＝事務局長・管理課長・管理課担当・地域医療連携室副室長  
常滑＝事務局長・管理課長・管理課担当・地域連携室医療相談室副室長

内 容：①医療連携（具体的な紹介、逆紹介）の方法について  
②経営効率化のための方策について  
③将来にわたる地域医療の安全確保のための情報交換

## ◎第3回作業部会

日 時：平成23年1月26日（水）

場 所：常滑市民病院

出席者：半田＝事務局長・管理課長・地域医療連携室副室長  
常滑＝事務局長・管理課長・看護部長・地域連携室医療相談室副室長

内 容：①医療連携（具体的な紹介、逆紹介）の方法について  
②医師・看護師の確保及び育成について  
③経営効率化のための方策について  
④将来にわたる地域医療の安全確保のための情報交換

## ◎第4回作業部会

日 時：平成23年5月20日（金）

場 所：市立半田病院

出席者：半田＝事務局長・管理課長・管理課担当・地域医療連携室長  
常滑＝事務局長・管理課長・地域連携室医療相談室副室長  
オブザーバー＝半田保健所次長及び主査・知多保健所課長補佐

内 容：①医療連携（具体的な紹介、逆紹介）の方法について  
②医師・看護師の確保及び育成について  
③経営効率化のための方策について  
④将来にわたる地域医療の安全確保のための情報交換

## 2. 作業部会の検討内容とまとめ

### (1) 医療連携（具体的な紹介・逆紹介）について

- ・半田病院に入院している急性期を過ぎた常滑市在住の患者を常滑市民病院が受け入れられるかどうか診療科別に検討した。
- ・常滑市民病院には、亜急性期病床・一般病床共に空き病床はあるが、医師不足と診療報酬上、一部の診療科を除き半田病院からの患者の受け入れが困難な状況にある。
- ・常滑市民病院から各診療科のヒアリング状況の報告を受け、診療科ごとに具体的に症例の受け入れの可能性について協議したが、一部の診療科を除き難しい状況である。
- ・したがって、当面は、地域医療連携室を中心に患者個々の事例ごとに連絡を取り合いながら紹介を進め、少しずつでも実績をあげていく。
- ・整形外科は、昨年度より半田病院から常滑市民病院へ週1日代務医師を派遣している。
- ・今年度に入って、紹介・逆紹介ともに件数が増加しているが、特に、内科系医師を中心に転院受け入れについて調整が必要である。
- ・半田病院は地域医療支援病院の承認に向けた取組みとして、登録医を募集するので、常滑市民病院の医師の登録をお願いする。
- ・両病院は、連携の窓口となる医師を決め、医師同士が直接話ができるようになることによって、紹介・逆紹介をさらに進める。
- ・次回の部会で、医療連携（紹介・逆紹介）の数値目標を定める。

### (2) 医師・看護師確保及び育成について

- ・常滑市民病院が連携して半田病院の患者を受け入れるためには、整形外科と呼吸器内科の常勤医が必要である。
- ・医療連携を推進していくために、半田市・常滑市医療連携等協議会名で大学病院及び愛知県に要望書を提出する。
- ・両病院の研修医同士の交流を図るとともに、常滑市民病院で常勤医のいない診療科（産婦人科、整形外科）の研修については、半田病院が協力病院になる。
- ・半田常滑看護専門学校将来計画を検討するために、検討組織を設置する。
- ・スキルアップを図るために、両院の看護師の派遣交流を行う。

### (3) 経営の効率化のための方策について

- ・診療材料につき、両病院が価格交渉業務を同じ業者に委託していたため、交渉方法や全国の病院の価格情報参照等について、足並みをそろえていくことを確認した。
- ・しかし、常滑市民病院は、さらなる経費削減の必要があったことから、23年度から診療材料価格交渉手法を変更したため、半田病院と同一歩調が取れなくなった。
- ・常滑市民病院から医薬品の共同交渉の提案をしたが、半田病院が23年度から診療材料と同じ業者の価格参考登録を始めたことから、医薬品の連携も難しくなった。
- ・診療材料と医薬品については、両病院が別々に削減に取り組んでいくが、それぞれのメリット・デメリットについて比較検討を進め、業者との契約更改時期に合わせて、共同歩調を取ることも視野に入れていく。
- ・その他、共通する業務委託、例えば医事事務、給食業務など、委託業務の見直しについて共同で検討する。

### (4) 将来にわたる地域医療の安全確保のための情報交換

- ・新常滑市民病院基本構想策定委員会、100人会議について
- ・愛知県地域医療再生計画について
- ・愛知県及び大学医局の動向について